

2024/9/19

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-5859

先週のマーケット動向(9月9日～9月13日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,338.1	1,345.6	1,326.7	1,329.5	+1.8
JPY/KRW	9.3908	9.4611	9.3659	9.4324	+0.106
KOSPI	2,498.67	2,584.11	2,491.30	2,575.41	+31.13

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は小幅上昇。週初のドル/ウォンは1,338.1ウォンでオープン。前週末の米雇用統計を受けて悲観ムードから前週末比大幅上昇してオープン。株式市場での外国人投資家の売り越しが継続し、1,340ウォンを上抜ける場面も見られた。翌10日は米金利が小幅上昇したことで、1,345.6ウォンの高値をつけた。11日には一転し、米大統領候補討論会においてハリス候補が優勢との見方からドル売りが拡大し、1,340ウォンを割れた。12日は材料難から揉み合い推移が継続。13日は韓国大型連休を控えた輸出勢によるドル売りが拡大し、節目の1,330ウォンを割れて推移。結局、ドル/ウォンは前日比+1.8ウォンの1,329.5ウォンでクローズした。(韓国時間15:30)

今週の見通し

今週のドル/ウォンは上値重い推移を予想。昨晚の米FOMCでは50bpの利下げを決定。同時に発表されたドットチャートでは、年内残り2回の会合において0.5%の追加利下げ、来年は1%の利下げ見込みを示唆した。パウエル議長は「今後特段利下げを急ぐ必要は無い」と発言した。米経済のソフトランディング期待も高まり、今週新興国通貨には追い風となろう。米金利の低下もサポートし、今週のドル/ウォンは下落基調での推移を見込む。

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1310 ~ 1340	9.25 ~ 9.55	140.0 ~ 144.0

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 16日(月) 米 9月 NY連銀製造業指数 速報値
- 17日(火) 米 8月 小売売上高
米 8月 鉱工業生産
- 18日(水) 米 8月 住宅着工件数
日 7月 機械受注
欧 8月 CPI 確報値
日 8月 貿易統計
米 FOMC 政策金利発表
- 19日(木) 米 9月 失業保険新規申請者数
米 8月 中古住宅販売件数
- 20日(金) 日 8月 CPI
欧 9月 消費者信頼感指数 速報値

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。